医療を支える人が
減っていく時代だからこそ

東部地区の医療再編を必ず推進します！

2040年までに沼津周辺の
85歳以上人口は**約1.4倍**
に増え、支える働く世代
は約**2割**減ります。
地域で**安心して**
医療にかかれる環境
を守ります。

救急や手術を、多くの病院が少しずつ担っています。役割の調整をして、夜中の救急でも、手術が必要なときも、対応できる体制をつくります。病院が遠い地域やへき地にはオンライン診療を届け、医療の空白をつくりません。

私は、看護師/保健師として現場に立ち、医療シンクタンクで国の制度（医療政策）を提案する仕事に携わっています。専門的知見を活かし、私が責任をもって医療再編をリードします。



ずっと沼津でくらします、だから全力で頑張れます！

ずっとつづく『あたりまえ』を紡ぐ。

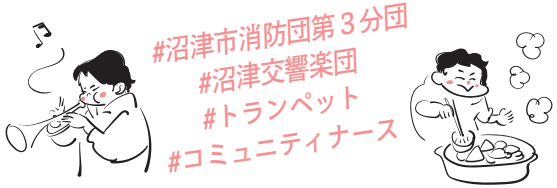
——いつまでも、だれにとっても、
くらし心地のいい沼津に——

鈴木 秀（すずき しゅう）

1993 年生まれ（33 歳）、静岡市出身、沼津市在住。
看護師・保健師。2 児の父。

■NPO 法人コミナスしずおか理事長
■日本医療政策機構（シンクタンク）職員

国立看護大学校 卒業（看護師免許取得）
東京大学大学院 中退（保健師免許取得）
元静岡県職員（保健師）
就業を期に沼津市居住となる。シンクタンクに勤務し国内外の最新の医療福祉政策への知見を持つ。沼津市第３地区を拠点に地域共助の仕組みづくりを実践中。行政・研究機関・NPO という立場への経験を活かし即戦力として地域課題の解決に取り組みます。



鈴木しゅう後援会

410-0813
静岡県沼津市上香貫
二瀬川町1470-5
オーパスヒルズ201
代表 080-3640-5346
shu.suzuki.numazu@ss-po.com

各種SNSリンク
Lit.Link

鈴木しゅう
公式ウェブサイト

討 議 資 料

医療×テクノロジーで もっとくらしやすい 沼津になる！

33歳 鈴木しゅう

医療シンクタンク職員
全力活動中!!



2児の父



みんなで
つくりましょう

ずっと安心できる、ワクワクできる 健康な沼津！



1 医療再編

～沼津および県東部の
医療に確かな設計図を～

夜間や休日、病院が遠い地域も

診てもらえる安心を守る

夜間・休日の医師の確保が難しくなっています。医師会などとともに、オンライン診療も取り入れ、子育て世代や、病院に行きづらい高齢者など、地域医療の安心を守ります。

最後まで住み慣れた地域で暮らす

在宅医療の担い手を増やす

沼津周辺は、家に来て診察してくれる医療機関や訪問看護が、全国より少ない地域です。地域の関係者とともに担い手を増やし、退院後も家で安心して暮らせるようにします。

医療現場で働く人を支える

働き続けられる環境づくり

静岡県は、医師も看護職員も全国 38 位と少ない県です。働きやすい環境づくりと、地域で人材を育て、支え合う仕組みづくりを、医師会や看護協会、県とともに進めます。

2 共助を再構築

～民間から新たな担い手を生みだし
強くて元気な地域づくりを～

共助の担い手が足りない

自治会役員の負担を軽く

沼津の自治会への加入率は、17 年で 87%から75%に下がりました。役員の負担の重さもその理由の一つです。回覧や配布物を減らし、連絡のデジタル化を後押しして、負担を軽くします。

できるときに、できることを

自治会だけで抱えない

あなたの近くにも、地域に係りたい企業や有志のグループが必ずいます。防災や見守りに、自治会と一緒に取り組める体制をつくり、地域の活動を続けられるようにします。

実践家として

地域の新たな担い手と共に

NPO 法人理事長として、地域の担い手を育てる講座を開いています。困ったときに助け合えるよう、手伝ってほしい人と手伝える人をつなぐ仕組みも、沼津でつくっています。

3 行政・政治DX（デジタル改革）

～テクノロジー活用で行政・政治を
市民に寄り添う身近なものに～

テクノロジーを活用して

役所をもっとスマートに

市役所に行かなくても、スマホで済む手続きを増やします。職員の事務作業もデジタル化で減らし、生まれた時間を、窓口で手助けが必要なお年寄りなどへの対応に回します。

議会の記録を誰でも探せるように

政治をもっと身近に

市議会で誰が何を質問したかを、スマホで探せるサイト「沼津市政アーカイブ」を自分でつくりました。「子育て」「防災」などのキーワードで調べ、AI に質問もできます。

沼津市政アーカイブはこちら
numazu-gikai.ss-po.com